

あくと み まち や い せき 芥見町屋遺跡

ぎ ふ し あくと み まち や 岐阜市芥見町屋



藍川橋

芥見の渡し

長良川

発掘区全景

芥見町屋遺跡は、長良川の旧渡船場（芥見の渡し）に隣接する遺跡で、長良川の旧中州上に立地します。鎌倉時代から明治時代にかけての建物跡、溝、井戸、土坑などがみつかると現代の地割が中世までさかのぼる可能性が明らかとなりました。



遺構完掘状況

室町時代の屋敷を区画する溝（写真中央）が埋められた後に、室町時代と江戸時代の掘立柱建物5棟が建てられていました。いずれの建物も、川の向きに沿って建てられています。



鍛冶滓出土状況

安土桃山時代の土坑の中から、鍛冶滓（鍛冶の際に生じる不純物）や金属片約4.5kgが出土しました。調査地の周辺で、鍛冶作業が行われていたことがわかります。

約 2300 年前 約 1700 年前 約 1400 年前 約 1200 年前 約 800 年前 約 400 年前 約 150 年前

縄文				弥生			古墳			古代			中世			近世		近代
前	中	後	晩	前	中	後	前	中	後	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	室町	江戸	明治